

## 適用作物と使用方法

作物名	使用目的	希釈倍数 (薬量)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	インドール酪酸 を含む農薬の 総使用回数	
りんご(台木)	さし木の発根促進	4倍(250ml/水1ℓ)	さし木直前	1回	さし穂基部瞬間～15秒浸漬	1回	
すぎ ひのき	さし木の発根促進および 発生根数の増加	40倍(25ml/水1ℓ)	—		24時間さし穂基部浸漬		
茶		100～200倍 (10～5ml/水1ℓ)			3時間さし穂全体浸漬		
桑(古条)		40～80倍 (25～12.5ml/水1ℓ)			24時間さし穂基部浸漬		
		1.3～4倍 (3300～330ml/水1ℓ)			3秒さし穂基部浸漬		
桑(新梢)		800倍 (1.25ml/水1ℓ)			24時間さし穂基部浸漬		
		2～4倍 (1000～330ml/水1ℓ)			3秒さし穂基部浸漬		
いぬつげ		40～80倍 (25～12.5ml/水1ℓ)			6月～7月(夏さし)		3時間さし穂基部浸漬
		原液					10秒さし穂基部浸漬
かいづかいぶき		20～40倍 (50～25ml/水1ℓ)			3月～5月(春さし)		6～24時間さし穂基部浸漬
きんぼうじゅ		400倍(2.5ml/水1ℓ)			6月～7月(夏さし)		24時間さし穂基部浸漬
		原液					10秒さし穂基部浸漬

## 適用作物と使用方法

作物名	使用目的	希釈倍数 (薬量)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	インドール酪酸 を含む農薬の 総使用回数		
つつじ類	さし木の発根促進および 発生根数の増加	40倍(25ml/水1ℓ)	6月～7月(夏さし)	1回	3時間さし穂基部浸漬	1回		
どうだんつつじ		2倍(1000ml/水1ℓ)			20秒さし穂基部浸漬			
ヒマラヤシーダ		40～80倍 (25～12.5ml/水1ℓ)	3月～5月(春さし)		3時間さし穂基部浸漬			
カーネーション		200～400倍 (5～2.5ml/水1ℓ)	—		16～24時間さし穂基部浸漬			
		2倍(1000ml/水1ℓ)			5秒さし穂基部浸漬または さし穂100本当り10mlを さし穂基部に散布			
きく		500～1000倍 (2～1ml/水1ℓ)			3時間さし穂基部浸漬			
		2倍(1000ml/水1ℓ)			10秒さし穂基部浸漬			
		100～200倍 (10～5ml/水1ℓ)			5～10秒さし穂全体浸漬			
チューリップ		花茎基部の伸長			20～40倍 (50～25ml/水1ℓ)		第1葉の長さが 9～10cmの時期	1株当り1mlを葉間に滴下

## 適用作物と使用方法

作物名	使用目的	希釈倍数 (薬量)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	インドール酪酸 を含む農薬の 総使用回数
樹木類 (すぎ、ひのき、 いぬつげ、 かいづかいぶき、 きんぼうじゅ、 つつじ類、 どうだんつつじ、 ヒマラヤシーダ を除く)	さし木の発根促進および 発生根数の増加	40倍(25ml/水1ℓ)	—	1回	6～24時間さし穂基部浸漬	1回
		2倍(1000ml/水1ℓ)			5～10秒さし穂基部浸漬	
		200～400倍 (5～2.5ml/水1ℓ)			12～24時間さし穂基部浸漬	
花き類・観葉植物 (カーネーション、 きくおよび チューリップを除く)						